

秋の自然観察会実施報告書

「梅ヶ島の紅葉（静岡市主催）」

平成30年11月17日

青野理事長 様

- 1 実施日時 平成30年11月17日（土） 10:00～14:00
- 2 主催 静岡市
- 3 担当講師名 青野、高橋、小嶋、杉山
- 4 一般参加者 33人
- 5 概要

実施場所は、当初の予定では梅ヶ島の安倍峠を予定していたが、下見の時点でトイレの故障などがあることや、観察会の応募者の中に歩かないことを希望する方が多くいたこともあり、もう一か所の下見場所であった魚魚の里に隣接する日影沢金山遊歩道となった。



日影沢金山遊歩道は、安倍峠に比べコースは短く植生もそんなに多様ではないため、いかに参加者に楽しんでもらうか解説の内容に各インストラクターは苦心した。



観察のコースは、魚魚の里を出発しカエデ橋、モミジ橋を渡り、日影沢金山坑道跡をめぐり、魚魚の里へ戻る周遊コースである。幸いにして歩かないことを希望していた参加者も皆ガイドウォークに参加していただけるようになった。4組に分かれ出発。シデ3兄弟の出現によりアカシデ、イヌシデ、クマシデの比較やアワブキの特徴を落葉で確認した。次いでブナとイヌブナもあり樹皮や葉（落葉）の違い、子孫を残すための戦略の違いも説明した。まだ残っていたクマシデやカエデの果実を見たり、つる植物の経費節約戦略やヘクソカヅラなど人に役立つ薬効についてもいくつか説明を加えた。コース沿いに見られる手を切りそうに鋭い堆積岩の頁岩や石英脈などこの地域の地質についても解説する。また、日影沢金山の由来や砂金の産出についても皆さんに興味深く聞いていただいた。

紅葉は、盛りはとうに過ぎていたものの、カエデ類の紅葉が残っており何とかタイトルの秋を少しは感じられる観察会となった。楽しかったという声があちこちで聞かれる。初めての経験だったという方もあり森を歩く楽しさを知っていただけたようだ。魚魚の里に戻り参加者と一緒に仲良く語りながら昼食をとる。森林インストラクターしずおかの活動もお話させていただいたが、当会の活動「森で遊ぶ会」に参加したいという方がおられたので、ホームページを一度見ていただくようお願いした。



行程表

(出発)			
市役所静岡庁舎			
御幸町玄関前	→	魚魚の里	→
8:00	バス	9:45	徒歩
			11:30~13:30
			(休憩①：真富士の里)
			(休憩②：黄金の湯)
魚魚の里	→	(帰着)	
14:00	バス	16:00	市役所静岡庁舎
			御幸町玄関前 解散

(杉山 記)